



スイッチの管理

- ポートの設定 (1 ページ)

ポートの設定

このスイッチは、32 ポートのうち 28 ポートが 40/50 ギガビット ポートとして設定され、4 個は 40/100 ギガビット ポートとして設定されます。これらのポートがテンプレートを使用して、すべてのポートが一般的に使用されるか、またはポートが個々に設定される方法を変更できます。使用できるテンプレートの 3 つは、次の通りです。



(注) 上下のポートは、同じ速度で実行する必要があります。速度の差が発生した場合、下部のポートは無効に設定されます。

- 28 個の 40/50 ギガビット ポートおよび 4 個の 40/100 ギガビット ポート (デフォルト設定)

1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31
2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32

40/50 Gigabit
40/100 Gigabit

501585

- 24 個の 40/50 ギガビット ポートおよび 6 個の 40/100 ギガビット ポート


1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31
2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32

40/50 Gigabit
40/100 Gigabit

501584

- 18 個の 40/100 ギガビット ポート

1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	27	29	31
2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32

 100 Gigabit

501586

ポート 1 ~ 28 は、次の表に示されるように個別に設定できます。

奇数ポート (1 ~ 27)	奇数番号のポートの下のポート (2 ~ 28)
40 ギガビット QSFP+ ポート (デフォルト)	40 ギガビット QSFP+ ポート (デフォルト)
4 x 10 ギガビット ブレイクアウト機能を備えた 40 ギガビット ポート	ハードウェアが無効になっています
100 ギガビット QSFP28 ポート	ハードウェアが無効になっています
4 x 25 ギガビット ブレイクアウト機能を備えた 100 ギガビット ポート	ハードウェアが無効になっています
ポートの QSFP-to-SFP アダプタを使用して、1/10 ギガビット ポート	ポートの QSFP-to-SFP アダプタを使用して、1/10 ギガビット ポート (注) 偶数ポートでは、ポートの同じ垂直ペアで奇数の番号のポートとして同じ速度を使用する必要があります。ポートの垂直ペアの速度を設定するには、まず奇数の番号のポートに接続します。

個別に 29 ~ 32 のポートとして、次の通り、個々に設定できます。

- 40/100 ギガビット QSFP+/QSFP28 アップリンク ポート (デフォルト)
- 40/100 ギガビット QSFP+/QSFP28 アップリンク ポートは、4 x 10 ギガビットまたは 4 x 25 ギガビット ブレイクアウト機能で個別に分類できます。

このスイッチのポートの設定に関する詳細については、『Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS インターフェイス設定ガイド』を参照してください。

このスイッチでサポートされるトランシーバ、アダプタ、およびケーブルを確認するには、『Cisco Transceiver Modules Compatibility Information』を参照してください。